

☆家庭クラブが動き始めました。

北海道地震の被害状況が徐々に明らかになってきましたが、当初の報道よりもかなり悲惨な状況のようです。「心清らV 24勝目」で「今、できることをしよう」と呼びかけました。すると、みなさんお気づきの様に、家庭クラブが、早速今朝から募金活動を始めました。「西日本豪雨災害」に対しても真っ先に反応したのが家庭クラブでした。気づきをすぐに行動に移すこのことができる家庭クラブの人たちは凄いですね。まだ全校に対してのアナウンスがされていない状況での募金活動開始でしたので、今朝の段階ではやや生徒諸君の反応は薄かったです。玄関では、何人かの「明日、持ってくるわ」という声が聞こえました。お金が余っている人はいないと思いますし、金銭面で苦労している人もいるでしょう。一律10円とか100円とか指定しているわけではありませぬ。例えば、コンビニや自動販売機でペットボトルのお茶を買うのではなく、水筒に家に入れてお茶を持ってくるなどの工夫をしたり、少し自分のしたいことを我慢するなどして、募金活動に協力してみてください。

☆大高の大先輩から、君たちへのメッセージ

6/30の明倫会（大野高校同窓会）総会において、大野高校OBの布川雅雄先生が講演をされました。その際に、これから高校に進学する中学生、現役大高生に向けてアドバイスをお願いしたところ、早速メッセージが届きました。その一部分を紹介します。

「現代は大変すばらしい時代となり、インターネット上には情報があふれ、有名な予備校講師の授業も配信されています。玉石混交のこの情報の洪水の中では、いかに今の自分に最適なものを見抜きそれを適切に使うかが最も重要なこととなります。くだらない情報にとらわれていては3年間はあまりにも早く過ぎてしまいます。

生きていく上で人間関係が最も重要であることは言を俟ちませぬ。大野高校の友人関係ほど素晴らしいものはなく、その点では全く格好の環境です。現代はあふれる情報の中からいかに有用なものを抽出し、効率よくそれに取り組むかが成功の道と考えます。どうぞ本物を見極める目を磨かれますように。」

布川先生は、大野高校第28回卒業生で、東京大学医学部を卒業され、現在は杏林大学医学部教授をなさっています。

担任の先生方は、必要部分を読み聞かせ、しばらく教室掲示して下さい。